

令和7年度自由民主党愛知15区陳情・要望

新政田原自民クラブ

1. 日時

令和7年8月8日（金）11時

2. 参加者

根本衆議院議員 愛知県議会議員 豊橋市議会議員 田原市議会議員

3. 場所

衆議院第二議員会館 B1F第3会議室

4. 小林鷹之衆議院議員挨拶・意見交換会

今の自民党に欠けているものとして、①スピード感の欠如 ②発信不足 ③自民党としての武器がないを挙げている。具体的には、暫定税率は廃止の方向で議論が進められているが、代替財源の確保や地方財政への影響を考慮する必要があるため、廃止の時期や方法については慎重な議論が続いている。参議院選挙で給付か減税かの議論についても説明が中途半端であった。参議院選挙でも自民党ならではの訴える武器（政策）が弱かった。

消費税減税については、個人的には実施すべきと考えるが、内容・方法はまだまだ慎重に検討すべきである。

経済成長無くして国の成長は無い。とにかく経済が財政に優先する。低成長に満足する社会ではいけない。2026年には、日本のGDPがインドネシアに抜かれる。テクノロジー大国を復活させ、アジアのリーダーでなければならない。アメリカの自動車関税に関しては、トヨタは企業体力があるが、リーダーとしてアメリカ市場での値上げに踏み切ってほしい。そうすれば他メーカーも追随しやすくなる。

5. 酒井庸行参議院議員挨拶

6. 要望事項

国土交通省

黒田昌義大臣官房長挨拶と手交

- ①浜松湖西豊橋道路の早期実現
- ②豊橋新城スマートインターチェンジ（仮称）の整備促進
- ③渥美半島の防災力を強化する道路の早期整備
- ④柳生川の河川整備について
- ⑤設楽ダム建設事業の促進
- ⑥多目的屋内施設及び豊橋公園東側エリア整備
豊橋総合スポーツ公園への野球場整備

要望先

道路局 高速道路課 企画専門官 川村顕大
環境安全・防災課 課長補佐 交田晃基
環境安全・防災課 道路防災対策室 課長補佐 沼崎光祥
水管理・国土保全局 治水課 課長補佐 武田正太郎
治水課 調査係長 内屋雅人
治水課 事業監理室 課長補佐 有田由高
治水課 事業監理室 事業第一係長 清水杏子
都市局 市街地整備課 企画専門官 松村知樹
市街地整備課 市街地防災計画係長 中嶋一仁
公園緑地・景観課 公園利用推進官 下出大介
公園緑地・景観課 国営公園連携調整係長 東吉寛樹

農林水産省

- ⑦豊川用水二期事業の推進
- ⑧生産コストに見合った適正な価格形成の実現

要望先

農村振興局 整備部水資源課水資源機構業務班 課長補佐 高村幸治
整備部水資源課水資源機構業務班 事業調整係長 高橋賢司
大臣官房政策課 企画官 廣金沙季子
新事業・食品産業部 企画グループ 課長補佐 小口悠

7. 所感

今回の陳情・要望活動は、要望先の職員が愛知県出身であったり、中部地方整備局に勤務経験があったりして、伊良湖岬の話が出たり、地元のことをよく知っていて理解されやすい環境にあったこともあり、和やかな活動ができた。また、小林鷹之衆議院議員の話も、日本の将来を憂い、これではいけないと常々考えられていることが感じ取れた。「継続は力なり」の言葉通り、地道な活動をあきらめずに続けることが、将来の田原市の礎を築くことができるものと考え、今後も活動を進めていく。

視察・研修等報告書

令和7年11月17日

田原市議会議長 殿

会派名 新政田原自民クラブ

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会派 代表者	中神 靖典	経理 責任者	鈴木 和基
期 間	令和7年11月13日(木)			
視察・研修 等先	農林水産省、 国土交通省、財務省			
視察・研修 等の目的	東京要望のため			
参加議員名	中神靖典、内藤浩、鈴木和基、岡本禎稔、古川美栄、村上 誠			
視察先等 面会者	根本幸典農林水産副大臣、酒井庸行国土交通副大臣、 片山さつき財務大臣			
概要及び所見	豊橋市議会議員（自由民主党豊橋支部）と合同要望 《根本幸典農林水産副大臣への要望》 ○豊川用水二期事業の促進 ○生産コストに見合った適正な価格形成の実現 ○産地生産基盤パワーアップ事業 ○口頭で土地改良事業についてなど課題を共有 《酒井庸行国土交通副大臣への要望》 ○広域幹線道路の整備（国道23号バイパスの4車線化、浜松湖西豊橋道路の早期事業化） ○豊橋新城スマートインター（仮称）事業の整備促進 ○渥美半島の防災力を強化する道路の早期実現 ○三河港の整備、柳生川の整備 ○設楽ダム建設事業の促進 ○多目的屋内施設及び豊橋公園東側エリア整備、豊橋総合スポーツ公園への野球場整備 ○口頭で伊良湖クリスタルポルトの防災拠点の整備、堀切海岸線「緑の防潮堤」早期完成についてなどを要望			

※片山さつき財務大臣には、両副大臣に要望した件について、よろしくお取り計らいくださいと要望。

《概要》

豊橋市議会議員と合同のため、豊橋市の要望も含めて要望し、根本副大臣においては、地元選出議員のため要望内容をしっかりと把握しており、問題意識をもって取り組むと回答を得た。また今後の農地のあり方や、漁業、林業にも問題意識を持って取り組んでいくと話された。

酒井副大臣については、特に渥美半島道路に関してはしっかりと問題点を把握していて、半島防災についても問題意識を持って取り組んでいくと話された。

片山財務大臣については、政府が財政支出を拡大していく「積極財政」により景気回復を図ろうとする政策を掲げているので、各省庁で検討させると話された。

《所見》

豊橋市や田原市の農業、漁業をよく知る議員がいることで、要望の内容を日本全体の問題としてとらえてくれるので、これからも要望をすることが重要だと感じた。